平成28年度 第2回農村計画学会西日本ブロックセミナー

「農山村における地域イノベーション人材の活かし方」

詳細：

社会起業や継業などを通じて地域課題の解決を目指す，いわゆる“地域イノベーション人材”が全国各地で活躍しています．また，最近では，こうした人材を育成する取り組みが積極的に行われています．

こうした“地域イノベーション人材”は地域にとって浮いた存在になりがちであり，地域の視点から見ると，こうした人材をいかに取り組んでいくかという視点が重要になっています．本セミナーでは，“地域イノベーション人材”について，異なる立場からの報告を基に最新の動向を把握し，それぞれの取り組みが地域にどのように広がっているのか，地域に取り込んでいく過程での要点と課題について議論します．

【日時】平成29年2月18日（土）13時30分～17時（開場は13時～）

【会場】島根県民会館303会議室

【定員】30～50名

【申込方法】Facebookのアカウントを持っておられる方は，Facebookにあるイベントページの参加ボタンをおして下さい

（https://www.facebook.com/events/1406495772716469/）．Facebookのアカウントがない方は，髙田までメールを頂きますと申込みとさせていただきます．なお，人数に余裕があれば，当日いきなり参加もOKです．※懇親会に参加される方は，2月9日（木）までに髙田までご連絡下さい．

【参加費】無料

【共催】田園回帰とネオ内発的発展研究会（事務局：鳥取大学地域学部）

【問い合わせ】

　島根大学生物資源科学部　髙田晋史

　Tel: 0852-32-6544

　Email: shinjitakada@life.shimane-u.ac.jp

◎プログラム

1）趣旨説明（13時30分～13時40分）

　　筒井一伸氏（鳥取大学地域学部 准教授）

2）報告（13時40分～15時20分）

・藤井裕也氏（特定非営利法人 山村エンタープライズ 代表理事）

・中川玄洋氏（特定非営利法人 学生人材バンク 代表理事）

・橋田薫氏（篠山イノベーターズスクール 事務局長）

・熱田勇二氏（島根県雲南市政策企画部次長兼政策推進課課長）

・尾原浩子氏（日本農業新聞 記者）

3）トークセッション（15時30分～16時50分）

コーディネーター：髙田晋史氏（島根大学生物資源科学部 助教）

コメンテーター：田中輝美氏（ローカルジャーナリスト）

--------------- パネラー・コメンテーターのプロフィール -------------------

◎藤井裕也氏

1986年岡山市生まれ．2010年より地域の魅力的な大人と若者をつなぐ「だっぴ」の立ち上げを行う．2011年より岡山県美作市地域おこし協力隊として上山地区での棚田再生に携わる．地域おこし協力隊期間中，単身者向けのシェアハウス「山村シェアハウス」を開設し，その後，協力隊卒業生で地域人材の育成と還流・地域課題の解決を目指す組織，山村エンタープライズを設立．地域人材の育成プログラムの企画運営・農山村での不登校ひきこもり支援事業「人おこし」・林野高校での地域学「みまさか学」の企画実施などを手がける．その他，みんなの集落研究所執行役員やイング総合計画株式会社研究員として全国各地で集落支援や地域経営，人材育成に資する事業を企画実施している．

第１回美作地域コミュニティビジネスプランコンテスト事業化部門優秀賞，美作県民局「生き生き岡山推進賞」受賞．

　山村エンタープライズHP：http://sanson.asia/

◎中川玄洋氏

鳥取大学在学中，地域の人が集まるメーリングリストに関わることがキッカケに，鳥取県鳥取市において，大学生や若者を地域につなぐ学生人材バンクを設立．①人材の派遣（アルバイト・ボランティア）②大学生による地域での企画の実施サポートや中小企業への課題解決型インターンシップ③移住や起業する県外若者の後方支援を行なっている．農村集落へのボランティア派遣は26地域，年間延べ約500人に及ぶ．この他，鳥取県内の地域おこし協力隊の後方支援を鳥取銀行と業務提携を組みながら行っている．

オーライ！ニッポン大賞，食と農林漁業大学生アワード農林水産大臣賞などを受賞多数．

　学生人材バンクHP：http://i-site.jinzaibank.net/dd.aspx

◎橋田薫氏

1993年生まれ．神戸大学在学中から，兵庫県篠山市福住地区で学生団体代表として地域づくりに参画．同時に，神戸大学農学研究科地域連携センターの学生スタッフとして地域連携業務に従事．2013年からは，「農と学び」を追求すべくNPO法人食と農の研究の運営にも関わる．大学卒業後，まちづくりコンサルタント会社に就職．2016年10月よりJR篠山口駅構内において神戸大学・篠山市が合同で開校している篠山イノベーターズスクールの事務局長をつとめる．

神戸大学・篠山市農村イノベーションラボ：http://sasayamalab.jp/category.php?id=4

◎熱田勇二氏

島根県雲南市政策企画部政策推進課は2011年より「幸雲南塾」に取り組み，社会起業家や地域貢献を志す若い人材の発掘と育成を積極的に行ってきた．現在では，塾の卒業生が中心となって設立されたNPO法人が塾の運営を担い，その取り組みが地域づくりの大きな推進力となっている．塾の卒業生は，60名以上にのぼり各地で地域づくりに関わっている．

　幸雲南塾HP：http://co-unnanjyuku.com/

◎尾原浩子氏

2003年，日本農業新聞に入社． 2007年に中国四国支所に転勤し，中国５県を回る中で，過疎問題を取材するようになり，地域づくりや田園回帰に興味を持つようになる．入社当時，先輩記者に「日本農業新聞の記者は何のために記事を書くべきか．農業・農村・農家と選択肢があれば、農村のために記事を書く記者になってほしい」と言われた意味を噛み締めながら各地で精力的に取材活動を行っている．

◎田中輝美氏

山陰中央新報社入社後，報道記者として，政治，医療，教育，地域づくり，定住・UIターンなど幅広い分野を担当し，ふるさとで働く喜びに目覚める．2014年秋に退職し，フリーの「ローカルジャーナリスト」として島根に暮らしながら，島根を記録，発信している．著書に共著『地域ではたらく ｢風の人｣という新しい選択』（ハーベスト出版），単著『ローカル鉄道という希望—新しい地域再生、はじまる』（河出書房新社）など多数．

2013年新聞協会賞，第29回地方出版文化功労賞、第2回島根本大賞受賞．